

# 研究指導の概要

## ■ 農学学位プログラム

【課程：博士後期課程】

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
1 年 次	春	A	<p>生物圏資源科学講究Ⅰ、エコリージョン基盤開発学講究Ⅰ、食料・バイオマス科学講究Ⅰ、地域システム経済学講究Ⅰ、先端農業技術科学講究Ⅰ（通年）：各領域に関する学術情報・論文等を収集・講読させ、専門研究分野の最新の専門知識・動向を把握するよう指導する。その上で、取り組む研究課題、目的を設定し、その課題を解決するための研究計画を立案させる。また、専門研究分野における研究手法の原理や理論の学習および基礎的実験手法の修得を支援し、定期的に研究進捗報告・計画検討・ディスカッションを実施してデータのまとめ方や課題の解決法を教授する。</p> <p><b>1年次達成度評価：</b>入学時に3名以上の教員（研究指導担当教員を含む）からなるアドバイザー・コミッティーを設置し、年度末までに1年次で達成すべきコンピテンスを満たしているかについて確認・指導を行う。</p>
		B	
		C	
	秋	A	
		B	
		C	
2 年 次	春	A	<p>生物圏資源科学講究Ⅱ、エコリージョン基盤開発学講究Ⅱ、食料・バイオマス科学講究Ⅱ、地域システム経済学講究Ⅱ、先端農業技術科学講究Ⅱ（通年）：各領域に関する学術情報・論文等を収集・講読させ、専門研究分野の最新の専門知識・動向を把握するよう指導する。また、立案した研究計画に沿って研究が遂行できるよう指導すると共に、専門研究分野における基礎的および先端的研究手法の修得を支援する。研究進捗報告・計画検討・ディスカッションを通してデータのまとめ方や課題の解決法を教授すると共に、学術集会等における研究発表のまとめ方や効果的なプレゼンテーション手法の助言を行う。</p> <p><b>2年次達成度評価：</b>アドバイザー・コミッティーが年度末までに2年次で達成すべきコンピテンスを満たしているかについて確認・指導を行う。</p>
		B	
		C	
	秋	A	
		B	
		C	

学年	学期 モジュール		研究内容及び指導方法等
3 年 次	春	A	<p><b>生物圏資源科学講究III、エコリージョン基盤開発学講究III、食料・バイオマス科学講究III、地域システム経済学講究III、先端農業技術科学講究III（通年）</b>：各領域に関する学術情報・論文等を収集・講読させ、専門研究分野の最新の専門知識・動向を把握するよう指導すると共に、先端的研究手法の修得を支援する。また、得られた研究結果の取りまとめや専門学術誌への投稿論文、および学位論文の執筆を指導する。</p> <p><b>学位論文審査（11月～1月）</b>：学位論文の予備審査・論文審査・最終試験により、修了・学位取得要件を満たしていることを確認する。</p> <p><b>最終達成度評価（2月）</b>：学位プログラムにおいて達成すべきコンピテンスを全て満たしているかについて確認を行う。</p>
		B	
		C	
	秋	A	
		B	
		C	